



TITLE:

格子欠陥(サブゼミ,1987年度物性若手夏の学校報告)

AUTHOR(S):

池淵, 立

CITATION:

池淵, 立. 格子欠陥(サブゼミ,1987年度物性若手夏の学校報告). 物性研究 1988, 49(5): 503-503

ISSUE DATE:

1988-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/92916>

RIGHT:

氏（東大理）と、飛び入り参加の出口哲夫氏（東大教養）の2人でした。井上氏は「量子スピン系も面白いよ」と題して、この両者の関係と、組み紐群について話されました。講義、発表いずれも大変興味深い話で、しかも分り易く、この分野に関心をもっていた参加者は大変楽しめたことと思います。特に、紐を操りながら闊達に話す出口氏の発表は印象的でした。最後に、忙しいなか時間を割いてくださった阿久津氏と発表者両氏とに感謝の意を表し、来年の世話人にバトンを手渡すことにします。

（文責 伊藤伸泰）

サブゼミ 格子欠陥

打ちっぱなしのコンクリートと青いビニールシート、ほのかに香るのはぬかみその臭いか。なんと格子欠陥サブゼミはスキーの乾燥室で行なわれることになっていたのだった。いったいこんな所に人が集まるのだろうか？と不安を抱きつつも迎える本番。

発表をお願いしたのは九大応力研の榎井浩一さんです。今年の春の学会で発表をお願いしました。「BCC結晶中のらせん転移と点欠陥の相互作用」という題です。

講師をお願いしたのは東北大金研の石岡俊也先生です。「転位のダイナミクス」という題です。

人の入りは、まあ大入り満員といってもよいでしょう。30ぐらいの席が全てうまりました。ほっと一息。時間中は私が一人で質問しまくっていたようで、今ひとつ議論に盛り上がりが出ていたようです。残念。

その夜のコンパで次の世話人にタッチして無事肩の荷を降ろしました。とにかく石岡先生、榎井さん、九大の皆さんごくろう様でした。またお会いしましょう。

（文責 池淵 立）

サブゼミ 高 分 子

参加者は、20～14名と少数でしたので、くつろいだ雰囲気で行進しました。講義形式でお